#### (19)日本国特許庁(JP)

### (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号 特開2003-67661

(43)公開日 平成15年3月7日(2003.3.7)

(P2003-67661A)

(51) Int.Cl.7	識別記号	FΙ	テーマコード(参考)
G06F 17/60	410	G06F 17/60	410E
4.5			410C
·	504		504
	ZEC		ZEC

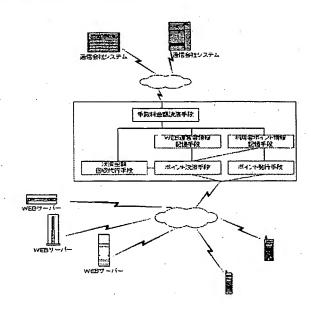
		審查請求	未請求 請求項の数5 OL (全 9 頁)
(21)出顯番号	特顧2001-254370(P2001-254370)	(71)出願人	501336206
(22)出顧日	平成13年8月24日(2001.8.24)		東京都品川区大崎2-7-3 久保杉ビル 4階 株式会社マンモスネット内
		(72)発明者	中村 悟
			東京都品川区大崎2-7-3 久保杉ピル
	•		4階 株式会社マンモスネット内
		(74)代理人	100112601
		·	弁理士 金原 正道
	·	*	
	•	1	

#### ポイント購入サーバーシステムを用いた、小額決済のための回収代行システム (54) 【発明の名称】

#### (57)【要約】 (修正有)

【課題】 オンラインで完結し、気軽に小額決済を行え ると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可 能な小額決済・回収代行のシステムを提供すること。

【解決手段】 アクセスした利用者にポイントを発行す るポイント発行手段と、利用者に関する情報、ポイント を購入した金額及びその決済情報、及びポイント残高情 報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段と、各WEB サーバーを利用した利用者の決済を行うために決済要求 データを受信して、WEB運営者情報、利用者情報及び 決済金額データを抽出し、該当する利用者ポイント情報 記憶手段のデータを更新するポイント決済手段と、前記 のポイント決済手段がポイント残高からの決済を行い、 金額の所定の割合の金額を該当するWEBサーバー運営 者に対し支払決済処理を行う決済金額回収代行手段と、 連携する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を 行う手数料金額決済手段とを備える。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話等の通信端末からインターネッ トを介してアクセスが行われ、利用者の操作により情報 処理が行われるサーバーシステムであって、インターネ ットを介して接続可能に備えられる複数のWEBサーバ ーと、携帯電話等を用いてインターネットに接続可能に するための通信会社システムと連携して情報処理が行わ れるように備えられ、前記のサーバーシステムには、ア クセスした利用者が金銭による決済処理と引き換えにポ イントを発行するポイント発行手段と、利用者ごとに、 利用者に関する情報、利用者がポイントを購入した金額 及びその決済情報を記憶するポイント購入情報、及びポ イント残高情報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段 と、連携するWEBサーバーの運営者に関する情報を記 憶するWEB運営者記憶手段と、各WEBサーバーか ら、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行う ために決済要求データを受信して、受信した決済要求デ ータから、WEB運営者情報、利用者情報及び決済金額 データを抽出し、抽出されたデータに基づき該当する利 用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新す 20 るポイント決済手段と、利用者ポイント情報手段に記憶 されるポイント残髙情報と、各WE Bサーバーから受信 した決済要求データに含まれる決済金額データとを照合 して、前記のポイント決済手段がポイント残高からの決 済を行った場合には、決済金額データが示す金額又は当 該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該 当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う 決済金額回収代行手段と、前記の利用者がポイントを購 入した金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金 額の所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに 30 対し手数料支払決済処理を行う手数料金額決済手段とを 備えることを特徴とする、回収代行システム。

1

【請求項2】 請求項1に記載の発明において、利用者 がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際 に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認 証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済 要求を行い、各WEBサーバーから送信される、当該W E Bサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済 要求データに入力・送信された認証情報などの利用者に 関する情報が含まれることにより、サーバーシステムに 40 おいて、受信した決済要求データと、利用者ポイント情 報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する 情報とを照合することによる認証処理を経て、前記のポ イント決済手段が、利用者ポイント情報記憶手段に記憶 されるデータを更新する処理を行うことを特徴とする、 請求項1に記載の回収代行システム。

【請求項3】 請求項2に記載の発明において、利用者 がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際 に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認 証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済 50

要求を行う処理において、認証情報などの利用者に関す る情報の入力は、携帯電話等の通信端末に備えられるメ モリ、ICカード、その他の記憶媒体に記憶される認証 情報などの利用者に関する情報を読み出す処理であるこ とを特徴とする、請求項1又は2のいずれかに記載の回 収代行システム。

2

【請求項4】 請求項1~3に記載の発明において、前 記の決済金額回収代行手段が、決済金額データが示す金 額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステ ムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処 理を行う処理は、所定期間における、複数の利用者の決 済金額データを含む複数の決済処理についての支払決済 処理を、所定期間ごとに行うことを特徴とする、請求項 1~3のいずれかに記載の回収代行システム。

【請求項5】 請求項1~4に記載の発明において、前 記の手数料金額決済手段が、利用者がポイントを購入し た金額、又は決済金額データが示す金額又は当該金額の 所定の割合の金額を、連携する通信会社システムに対し 手数料支払決済処理を行う処理は、所定期間における、 複数の利用者のポイント購入金額又は決済金額データを についての手数料支払決済処理を、所定期間ごとに行う ことを特徴とする、請求項1~4のいずれかに記載の回 収代行システム。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、利用者が携帯電話 などからインターネットを利用してポイントを購入し、 これを用いて、提携する他のWEBサイトにおける課金 処理に利用することができ、他のWEBサイト運営者が 行う課金に対する回収を、プリペイドのポイントを利用 して行うことの可能な回収代行システムに関する。

[0002]

【従来の技術】従来、インターネットを利用した課金処 理においては、クレジットカード決済や、現金決済のほ かにも、プリペイドカードや電子マネーなどを用いた決 済方法が開発されてきている。また、プリペイドカード や電子マネーなどにおいては、金銭に換算可能なポイン トを用いることができ、様々なポイントシステムが開発 されている。

【0003】例えば、このような分野における技術とし ては、特開2001-117984「電子決済システ ム」などがある。これは、WWWサーバが、顧客からの 注文内容と携帯電話番号を含む注文データを受け付け、 注文内容、金額および注文を承認するか否かの問い合わ せ文を含む注文確認データを文字データとして作成し、 携帯電話番号と共に携帯電話会社に通信回線を通じて送 信する。携帯電話会社は制御手段により注文確認データ を受け付け、制御手段の指示により、電話交換手段から 顧客の携帯電話にダイヤルし、注文確認データの文字デ 一タを合成音声発生手段により音声に変換して携帯電話 回線を通じて送信する。注文が承認されると、料金精算 手段により、顧客の携帯電話の料金に注文内容の料金を 加算する、というものである

【0004】また、前記のポイントシステムとしては例えば、特開2001-101533「利用者認証ポイントシステム」などがあり、書きの構成を備えている。オープンネットワーク上での電子商取引において、決済機関で正当な利用者に対して認証情報を付与した電子証明書を発行する手段と、発行された上記電子証明書単位にポイント口座を開設するポイントの口座開設手段と、上記決済機関による決済金額に対するポイントを発行するポイント発行手段と、上記決済機関と契約のある電子店舗での利用の際に利用者を電子証明書の提示で正しく認証し、その利用者の対応するポイントロ座の残高に応じた割引を受けられるポイントを管理するポイント管理手段と、を備える利用者認証ポイントシステムである。【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、前記の特開2001-117984のように、課金に対する決済処理において、携帯電話会社が直接関与する場合には、通信費の請求と関連して利用者への課金・決済処理が行えるために、さしたる問題は生じていない。例えば、NTTドコモ(商標)が提供するiモード(商標)サービスでの「公式サイト」の場合などである。ところで、携帯電話会社などの通信会社とは直接関連がなくWEBサイトを開設・運営しているいわゆる「非公式サイト」などにおいては、こうした課金・決済処理をとることができず、独自に課金・決済手段を設けなければならないという不便が生じている。一方これらのサイトには人気のあるものも多く、その数も膨大であり、独自に課金・決済手段を設けなければならないということは利用者に対しても不便を与えることになる。

【0006】独自にクレジットカードその他の決済を採用する場合には、特に小額決済の場合には利用した料金に対する手数料も大きく、また小規模なWEBサイト運営者においてはクレジットカード決済への加盟や、手数料などの面からもコスト・手間・加盟条件その他の面からの難点がある。一方、プリペイド式の電子マネーなどにおいては、コンビニエンスストアなどの実店舗において購入したりする不便があり、あるいは前記の特開204001-101533のように電子マネー発行者である金融会社への加盟や、手数料などの面からもコスト・手間・加盟条件その他の面からの難点がある。したがって、オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な小額決済・回収代行のシステムが存在していなかった。

【0007】そこで、上記の様々な課題を解決し、本発明においては、オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な小額決済・回収代行のシステムを提供すること

を目的とする。さらに、携帯電話会社などの通信会社への手数料支払いの手段を設けることにより、通信会社との提携を容易にし、本発明のシステムを普及させて殿WEBサイトでも、またどの利用者でも利用を簡易に行えるシステムを提供することをも目的とする。また各WEBサーバーから送信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うための決済要求データに入力・送信された認証情報などの利用者に関する情報が含まれるようにすれば、受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを照合する認証処理により、ポイント決済時の「成りすまし」その他の不正を防止することにもなる。

#### [0008]

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するた め、請求項1に記載の発明においては、携帯電話等の通 信端末からインターネットを介してアクセスが行われ、 利用者の操作により情報処理が行われるサーバーシステ ムであって、インターネットを介して接続可能に備えら れる複数のWEBサーバーと、携帯電話等を用いてイン ターネットに接続可能にするための通信会社システムと 連携して情報処理が行われるように備えられ、前記のサ ーバーシステムには、アクセスした利用者が金銭による 決済処理と引き換えにポイントを発行するポイント発行 手段と、利用者ごとに、利用者に関する情報、利用者が ポイントを購入した金額及びその決済情報を記憶するポ イント購入情報、及びポイント残高情報を記憶する利用 者ポイント情報記憶手段と、連携するWEBサーバーの 運営者に関する情報を記憶するWEB運営者記憶手段 と、各WEBサーバーから、当該WEBサーバーを利用 した利用者の決済を行うために決済要求データを受信し て、受信した決済要求データから、WEB運営者情報、 利用者情報及び決済金額データを抽出し、抽出されたデ ータに基づき該当する利用者ポイント情報記憶手段に記 憶されるデータを更新するポイント決済手段と、利用者 ポイント情報手段に記憶されるポイント残高情報と、各 WEBサーバーから受信した決済要求データに含まれる 決済金額データとを照合して、前記のポイント決済手段 がポイント残高からの決済を行った場合には、決済金額 データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、 サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に 対し支払決済処理を行う決済金額回収代行手段と、前記 の利用者がポイントを購入した金額、又は決済金額デー タが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携 する通信会社システムに対し手数料支払決済処理を行う 手数料金額決済手段とを備えることを特徴とする、回収 代行システムであることを特徴としている。

【0009】また、上記課題を解決するため、請求項2 に記載の発明においては、請求項1に記載の発明におい 50. て、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要

求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記 憶される認証情報などの利用者に関する情報を入力・送 信して決済要求を行い、各WEBサーバーから送信され る、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行う ための決済要求データに入力・送信された認証情報など の利用者に関する情報が含まれることにより、サーバー システムにおいて、受信した決済要求データと、利用者 ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利用 者に関する情報とを照合することによる認証処理を経 て、前記のポイント決済手段が、利用者ポイント情報記 10 る。本発明のシステムと連携する複数のWEBサーバー **憶手段に記憶されるデータを更新する処理を行うことを** 特徴とする、請求項1に記載の回収代行システムである ことを特徴としている。

【0010】また、上記課題を解決するため、請求項3 に記載の発明においては、請求項2に記載の発明におい て、利用者がいずれかのWEBサーバーにおいて決済要 求をする際に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記 憶される認証情報などの利用者に関する情報を入力・送 信して決済要求を行う処理において、認証情報などの利 用者に関する情報の入力は、携帯電話等の通信端末に備 20 えられるメモリ、ICカード、その他の記憶媒体に記憶 される認証情報などの利用者に関する情報を読み出す処 理であることを特徴とする、請求項1又は2のいずれか に記載の回収代行システムであることを特徴としてい る。

【0011】また、上記課題を解決するため、請求項4 に記載の発明においては、請求項1~3に記載の発明に おいて、前記の決済金額回収代行手段が、決済金額デー タが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サー バーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し 30 テム(ОЅ)を備えることが通常の形態である。 支払決済処理を行う処理は、所定期間における、複数の 利用者の決済金額データを含む複数の決済処理について の支払決済処理を、所定期間ごとに行うことを特徴とす る、請求項1~3のいずれかに記載の回収代行システム であることを特徴としている。

【0012】また、上記課題を解決するため、請求項5 に記載の発明においては、請求項1~4に記載の発明に おいて、前記の手数料金額決済手段が、利用者がポイン トを購入した金額、又は決済金額データが示す金額又は 当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信会社シス 40 テムに対し手数料支払決済処理を行う処理は、所定期間 における、複数の利用者のポイント購入金額又は決済金 額データをについての手数料支払決済処理を、所定期間 ごとに行うことを特徴とする、請求項1~4のいずれか に記載の回収代行システムであることを特徴としてい る。

#### [0013]

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して本発明の実 施の形態について説明する。図1は、本発明のシステム の基本的な構成を示すシステム構成図である。本発明の 50

回収代行システム携帯電話等の通信端末からインターネ ットを介してアクセスが行われ、利用者の操作により情 報処理が行われるサーバーシステムであって、インター ネットを介して接続可能に備えられる複数のWEBサー バーと、携帯電話等を用いてインターネットに接続可能 にするための通信会社システムと連携して情報処理が行 われるように備えられている。通信会社システムは、携 帯電話会社などの通信会社が提供する、WEBサーバ ー、ゲートウェイシステム、その他のシステムを備え は、インターネットサービスプロバイダーのWEBサー バーのや、レンタル等によりWEBサイトを開設・運営 する者に対し提供されるWEBサーバーを含む。WEB サイトの内容は、商品やサービス等の販売、コンテンツ やデータ等の販売、その他の様々な内容を含むことがで き、課金の発生する一切のものを含むことができる。

6

【0014】本発明のサーバーシステムに接続するため の利用者端末としては、主としてインターネット等に接 続可能なブラウザ機能を搭載した携帯電話をはじめとす る無線通信端末、携帯情報端末が想定されている。その 他、パーソナルコンピュータやワークステーションなど のコンピュータ端末、インターネットTV、ゲーム機 器、テレビ会議システム、その他のネットワーク接続機 能を備えた家電製品などの機器を付録含む。利用者端末 は、制御手段、記憶手段、入力手段、出力手段、表示手 段などを備える。またインターネットに代表されるコン ピュータネットワークに接続し、データの送受信を行う 機能を備え、ブラウザや電子メールソフトウェアなどの アプリケーションプログラムや、オペレーティングシス

【0015】次に、本発明のサーバーシステム1は、通 常は、アプリケーションサーバー、データベースサーバ ー、認証サーバー、WEBサーバー、その他必要に応じ メールサーバー、その他の各種装置により構成される。 これらの各サーバーは、物理的に同一の装置に設けられ る形態や、物理的に複数の装置からなる形態、あるいは ネットワークを介して接続される物理的に複数の装置か らなる形態などを含み、機能的に同様の機能が実現され るならば、様々な形態を含む。本発明のサーバーシステ ムに接続されて、記憶手段、制御手段、入力手段、出力 手段、表示手段などが備えられる。CPU、RAM、R OMなどのシステムの制御手段等を有し、クライアント コンピュータとの間でデータを送受信するデータ送受信 手段、クライアントコンピュータからのリクエストによ りデータベース上のデータを検索する検索手段、データ を保存するためのHDDなどの記憶手段、データを出力 する出力手段、サーバコンピュータやデータベースのメ ンテナンス等を行うため必要なCRTや液晶ディスプレ イなどの表示手段、キーボードなどの入力手段などによ り構成される。

【0016】前記のサーバーシステムは、アクセスした 利用者が金銭による決済処理と引き換えにポイントを発 行するポイント発行手段を備えている。ポイント発行手 段は、利用者端末から、プリペイド方式の金銭に換算可 能なポイントを購入する購入要求データを受信する手段 と、利用者の氏名、電子メールアドレス、決済方法等の 利用者に関する情報を受信し抽出して、利用者ポイント 情報記憶手段に記憶する手段と、購入要求データに含ま れる購入金額を抽出して利用者ポイント情報記憶手段に 記憶する手段と、購入要求データに含まれる購入金額に 応じたポイントとして使用可能なポイントデータを発行 して利用者ポイント情報記憶手段に記憶する手段と、必 要に応じポイントを使用する際に各WEBサイトにおい て利用者認証を受けるための利用者のIDやパスワード 等の認証情報を発行し、利用者ポイント情報記憶手段に 記憶すると共に利用者端末に送信する手段とを備えてい る。

【0017】次に、サーバーシステムは、利用者ごとに、利用者に関する情報、利用者がポイントを購入した金額及びその決済情報を記憶するポイント購入情報、及びポイント残高情報を記憶する利用者ポイント情報記憶手段を備えている。氏名、生年月日、年齢、電子メールアドレスなどの個人情報や、ID、パスワードなどの認証情報、その他上記のような情報を記憶するためのデータベースサーバーなどの記憶手段である。ポイント購入情報、ポイント使用情報、ポイント残高情報などは、ポイントを追加購入したり、各WEBサイトにおいてポイントを使用したりするごとに、データが記憶蓄積され、更新される。

【0018】次に、サーバーシステムは、各WEBサイ トを開設・運営する、連携するWEBサーバーの運営者 に関する情報を記憶するWEB運営者記憶手段を備えて いる。本発明のシステムは、WEBサイトを閲覧可能な 携帯電話等の端末用にWEBサイトを開設・運営するW EBサーバーの運営者(インターネットサービスプロバ イダーのWEBサーバーの利用者や、WEBサーバーを レンタル等してWEBサイトを開設・運営する者を含 む) に対し、課金手段(特に小額課金)を提供するもの である。本発明のシステム利用料金の徴収や、連携する WEBサーバーの運営者に関するデータ管理、各種連絡 等を行うために、連携するWEBサーバーの運営者に関 する、氏名、生年月日、年齢、電子メールアドレスなど の個人情報や、ID、パスワードなどの認証情報、その 他の情報を記憶管理するためのデータベースサーバーな どの記憶手段である。

【0019】次に、本発明のシステムは、顧客端末から アクセスするためのコンテンツデータ及びプログラムを 記憶するWEBサーバーを備えている。WEBサーバー に記憶されるコンテンツデータには、HTMLファイ ル、XMLファイルなどのWEB上に表示されるデータ

ファイルや、CーHTMLファイルなどのWEBサイトにアクセス可能な携帯電話等に表示されるデータファイルなどが含まれる。また、これらのファイルに挿入されるなどして表示又は出力される、文字データファイル、音声データファイル、画像データファイル、動画像データファイル、アニメーションデータファイル、その他の様々なコンテンツデータを記憶することができる。コンテンツの内容は、利用者がポイントを購入するための入力・送信フォームや、ポイント購入・使用・料金などのシステムの説明、その他のものである。

【0020】WEBサーバーに記憶されるプログラムには、利用者端末からの検索要求に応答してデータベース等に記憶されたデータを検索・抽出するプログラムや、抽出されたデータをWEB上に表示可能なHTMLファイル等として生成するプログラム、利用者端末から送信された購入申込等のデータをデータベース等に記憶させるプログラム、サーバーシステムに接続された入力手段やコンピュータネットワークを経由して入出力されるデータを送受信・記憶等させるプログラム、WEB上のファイルから電子メールを送信等するためのプログラム、その他のプログラムを含むことができる。

【0021】次に、サーバーシステムには、本発明のシステムと連携する複数の各WEBサーバーから、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行うために決済要求データを受信して、受信した決済要求データから、WEB運営者情報、利用者情報及び決済金額データを抽出し、抽出されたデータに基づき該当する利用者ポイント情報記憶手段に記憶されるデータを更新するポイント決済手段を備えている。受信される決済要求データには、連携するどのWEBサイトからのデータか、利用者のIDその他の利用者に関する情報、購入金額、購入品目、支払期日や期限、その他のデータなどである。

【0022】次に、サーバーシステムは、利用者ポイン ト情報手段に記憶されるポイント残高情報と、各WEB サーバーから受信した決済要求データに含まれる決済金 額データとを照合して、前記のポイント決済手段がポイ ント残高からの決済を行った場合には、決済金額データ が示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバ ーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支 払決済処理を行う決済金額回収代行手段を備えている。 例えば1000日の物を利用者が購入し、利用者の決 済金額が10000円であった場合に、所定の割合を算 出し、算出された例えば8500円を、サーバーシステ ムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処 理を行うものである。具体的には、算出された金額を示 すデータを、WEB運営者情報記憶手段に記憶して、1 か月ごとなどの総計金額を算出し、支払うべき金額を記 憶管理させるためのデータ及びプログラムを記憶する手

50 【0023】次に、サーバーシステムは、前記の利用者

30

がポイントを購入した金額、又は決済金額データが示す 金額又は当該金額の所定の割合の金額を、連携する通信 会社システムに対し手数料支払決済処理を行う手数料金 額決済手段を備えている。例えば10000円の物(又 はポイント)を利用者が購入し、利用者の決済金額が1 0000円であった場合に、所定の割合を算出し、算出 された例えば500円を、サーバーシステムから該当す る通信会社に対し手数料支払決済処理を行うものであ る。具体的には、算出された手数料金額を示すデータを 記憶して、1か月ごとなどの総計金額を算出し、該当す る通信会社に支払うべき金額を記憶管理させるためのデ ータ及びプログラムを記憶する手段である。

【0024】以下、本発明の基本的な処理の流れについ て説明する。図2から図6は、本発明の基本的な処理の 流れの一例を示すフローチャートである。なおここに示 す処理の流れは一例であって、これに限定されるもので はない。初めに、図2を参照して、利用者端末からポイ ントを購入する処理について説明する。

【0025】利用者端末からインターネットに接続し 明のサーバーシステム(ポイント購入サイト等のWEB サーバー等)にアクセスする(S101)。ポイント購 入メニューを選択すると(S102)、入力・送信フォ ーム等のコンテンツデータがを利用者端末に送信され表 示される(S103)。利用者端末においては、利用者 の氏名、電子メールアドレス、決済方法等の利用者に関 する情報を入力し(S104)、送信する。送信された データはサーバーシステムにおいてされ受信(S10 5)、受信した利用者情報を利用者ポイント情報記憶手 段に記憶する(S106)。利用者のIDやパスワード 30 等の認証情報を発行し、利用者ポイント情報記憶手段に 記憶すると共に、利用者端末に送信する(S107)。 【0026】次に、利用者端末においては、ポイント購 入金額などの購入要求データを入力し(S108)、サ ーバーシステムに送信する。送信されたデータは、サー バーシステムにおいて受信される(S109)。なお、 ポイント購入の決済は、クレジットカード決済、現金決 済、電子マネー決済、その他の様々な方法をとることが できる。また、ポイント購入の要求に対して、過去の決 済履歴などを参照して、利用者のチェックを行うことも できる。次いでポイントデータを発行し、発行されたポ イントデータを加算して、利用者ポイント情報記憶手段 に記憶・残高の更新を行い(S110)、利用者ポイン ト情報記憶手段に記憶する(S 1 1 1)。以上によりポ イント発行処理が完了し、更新されたポイント残高デー タなどをを利用者端末に送信して通知する(S11 2)。

【0027】次に、図3及び図4を参照して、利用者が いずれかのWEBサーバーにおいて決済要求をする際

10

証情報などの利用者に関する情報を入力・送信して決済 要求を行う処理について説明する。利用者端末からイン ターネットに接続し(S200)、本発明のシステムと 連携するいずれかのWEBサーバーにアクセスする(S 201)。前記のように、本発明のシステムと連携する 複数のWEBサーバーは、インターネットサービスプロ バイダーのWEBサーバーのや、レンタル等によりWE Bサイトを開設・運営する者に対し提供されるWEBサ ーバーを含む。WEBサイトの内容は、商品やサービス 等の販売、コンテンツやデータ等の販売、その他の様々 な内容を含むことができ、課金の発生する一切のものを 含むことができる。

【0028】利用者は、閲覧処理、検索処理等を行うこ とができ(S202)、商品購入・サービス購入・利用 等の課金メニューを利用する際には課金メニューを選択 し、購入・利用申込処理に進む(S203)。WEBサ イトによっては、様々な課金処理方法を採用することも あるため、本発明のシステム(ポイント課金・回収代 行)を利用しない場合には(S204)、他の課金処理 (S100)、URLの入力その他の方法により、本発 20 へ進む。本発明のシステムを利用する場合には、入力・ 送信フォーム等を利用者端末に表示された際に(S20 5)、下記の処理を行う。

> 【0029】利用者のID等の認証情報を利用者端末に おいて入力し(S206)、提携WEBサイトに送信 し、提携するWEBサーバーにおいて受信され(S20 7)、記憶される。次に、提携WEBサーバーにおいて は、利用者の認証情報、購入金額その他の決済要求デー タを抽出し、本発明のサーバーシステムに送信し(S2 08)、送信されたデータはサーバーシステムにおいて 受信される(S209)。各WEBサーバーから送信さ れる、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済を行 うための決済要求データに入力・送信された認証情報な どの利用者に関する情報が含まれることにより、サーバ ーシステムにおいて、受信した決済要求データと、利用 者ポイント情報記憶手段に記憶される認証情報などの利 用者に関する情報とを照合することによる認証処理を経 て、前記のポイント決済手段が、利用者ポイント情報記 憶手段に記憶されるデータを更新する処理を行う。

【0030】また、利用者端末から送信される認証情報 40 などの利用者に関する情報の入力は、携帯電話等の通信 端末に備えられるメモリ、ICカード、その他の記憶媒 体に記憶される認証情報などの利用者に関する情報を読 み出す処理であってもよい。例えば携帯電話のメモリな どのハードウェアに認証情報を記憶させておくことによ り、利用者は認証情報を入力しなくても、上記の処理が

【0031】次いで、サーバーシステムにおいては、利 用者ポイント情報記憶手段を参照し、認証情報(ID 等)から該当する利用者のデータを抽出する(S21 に、前記の利用者ポイント情報記憶手段に記憶される認 50 0)。利用者ポイント情報記憶手段に記憶されている該

当する利用者のポイント残高が、購入金額に足りている か否かを、ポイント決済手段が判定する(S212)。 足りていない場合には、決済不可のデータを提携するW EBサーバーに送信し(S213)、提携するWEBサ ーバー(又は本発明のサーバーシステム)から利用者端 末に送信される(S214)。決済可能の場合には、決 済可能のデータを提携するWEBサーバーに送信する (S215)。提携するWEBサーバーにおいては、購 入品目・購入金額等の確認などを経て(S216)、〇 Kであれば正式に決済要求データを提携するWEBサー バーからサーバーシステムに送信する(S217)。送 信されたデータはサーバーシステムにおいて受信され (S218)、決済要求データを利用者ポイント情報記 憶手段に記憶し、決済完了してポイント残高が更新され る(S219)。利用者ポイント情報記憶手段に記憶管 理される決済金額等のデータは、提携WEBサーバーへ の支払決済処理、通信会社への手数料金額決済処理に用 いられる。更新されたポイント残高のデータを提携する WEBサーバーに送信し(S220)、提携するWEB サーバー(又は本発明のサーバーシステム)から利用者 端末に送信する(S221)。なお、更新されたポイン ト残高のデータは、提携するWEBサーバーには通知し

【0032】次に、図5を参照して、前記の決済金額回収代行手段が、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を、サーバーシステムから該当するWEBサーバー運営者に対し支払決済処理を行う処理について説明する。ここでは、所定期間における、複数の利用者の決済金額データを含む複数の決済処理についての支払決済処理を、所定期間ごとに行う処理を例にして説明する。所定期間が経過するまで、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶し、ポイント残高を更新する処理(S219)を繰り返す。複数の利用者に関する、複数の提携WEBサイトにおける、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶する処理である(S300)。

なくてもよい。

【0033】次に、所定期間が経過した場合には、複数の利用者に関する、利用者ポイント情報記憶手段に記憶でも、された決済金額データを、回収代行手段が、提携WEB 40を提供サイトごとに集計を行う(S301)。集計されたデータはWEB運営者情報記憶手段に記憶される。次いで、決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を算出し(S302)、算出された金額をWEB運営者情報記憶手段に記憶する(S303)。記憶されたデータが示す金額に基づき、実際に各WEBサイト運営者への支払いが行われるが、支払方法はどのような形態であってもよい。例えば、全額をWEB運営者が得た上で、本発明のシステム管理者側に対しキャッシュバック等をすることであってもよい。算出されたデータは、提50ある。

携する各WEBサーバーに送信され(S304)、通知が行われる。

【0034】次に、図6を参照して、前記の手数料金額 決済手段が、利用者がポイントを購入した金額、又は決 済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金 額を、連携する通信会社システムに対し手数料支払決済 処理を行う処理について説明する。ここでは、所定期間 における、複数の利用者のポイント購入金額又は決済金 額データについての手数料支払決済処理を、所定期間ご とに行う処理について説明する。所定期間が経過するま で、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記 憶し、ポイント残高を更新する処理(S219)を繰り 返す。複数の利用者について同様の処理が行われる。複 数の利用者に関する、複数の提携WEBサイトにおけ る、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記 憶する処理である(S400)。

【0035】所定期間が経過した場合には、複数の利用者に関する、利用者ポイント情報記憶手段に記憶された決済金額データを、回収代行手段が、通信会社ごとに集計する(S401)。なお通信会社は単独であってもよい。例えば、NTTドコモ(商標)のiモード(商標)の公式サイトとして、手数料を支払う場合などである。あるいは複数の通信会社において汎用的に利用可能なシステムであってもよい。決済金額データが示す金額又は当該金額の所定の割合の金額を算出し(S402)、算出された金額を手数料金額決済手段に記憶する(S403)。算出されたデータは、各通信会社システムに送信され(S404)、通知が行われる。記憶されたデータが示す金額に基づき、実際に各通信会社への支払いが行われるが、支払方法はどのような形態であってもよい。

[0036]

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明によ れば、オンラインで完結し、気軽に小額決済を行えると 共に、どのWEBサイトにおいても共通して利用可能な 小額決済・回収代行のシステムを提供することができ る。さらに、携帯電話会社などの通信会社への手数料支 払いの手段を設けることにより、通信会社との提携を容 易にし、本発明のシステムを普及させて殿WEBサイト でも、またどの利用者でも利用を簡易に行えるシステム を提供することができる。また各WEBサーバーから送 信される、当該WEBサーバーを利用した利用者の決済 を行うための決済要求データに入力・送信された認証情 報などの利用者に関する情報が含まれるようにすれば、 受信した決済要求データと、利用者ポイント情報記憶手 段に記憶される認証情報などの利用者に関する情報とを 照合する認証処理により、ポイント決済時の「成りすま し」その他の不正を防止することができる。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の基本的な構成を示すシステム構成図で ある。

【図2】本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフローチャートである。

【図3】本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフローチャートである。

【図4】本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフロ

ーチャートである。

【図5】本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフローチャートである。

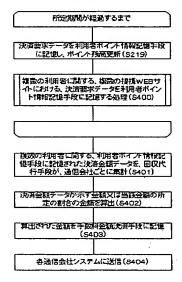
14

【図 6】本発明の基本的な処理の流れの一例を示すフローチャートである。

[図2] [図5] 【図1】 利用者端末からインターネットに技法(B100) 所定期間が経過するまで 決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段 にま2個し、ポイント技高更新(S219) (S101) ポイナ購入メニューを選択(S102) 複数の利用者に関する、複数の提携WEBサイトに対ける、決済要求データを利用者ポイント情報記憶手段に記憶する処理(S300) 学数科是包括证书中位 人力-这信7年-五寺を利用者端末に表示 1211-62 利用者の氏名、電子メールアドレス、洗剤方法等の利用者に関する解析を入力(S104) ポイント決策手段 ポインナを行う手段 摂政の利用者に関する、利用者ボイン・情報記憶手段に記憶された決済全額データを、回収代行手分が、| 財別WEBサイトことに集計(6301) 送信し、サーバーシステムにお、て受信(9105) WEB7-/(-利用者情報を利用者ホイン・情報配置手段に記 機(S106) 決済金額テータか示す金額又は当該金額の所 走の割合の金額で算出(5302) ボイン・情報記憶手段に記憶すると共に 利用者端末に送信(S107) 算出交行C金額をWEBIE名看情報記憶手段に 記憶(S303) ポイント関大会観信との頂大資本データを利用 省略来において入力(S108) 提携する各WEBサーバーに送信(S304) 送信し、ケーバーシステムにおいて対信(S109) テータを発行し、利用者ホイント情報配復 手段に記憶・残る更新(St10) 【図3】 利用者塩末からベンターネッナ(C技術(S200)) 信(\$112) 本の中のフステムと東京でもいうかのかのという サーバーにアナセス(epoi) 衛蟹加速等(5202) 施品購入号の課金にユーベの購入・利用甲 込め位(8203) [図4] 入力・医127年-上京をおり用る電本に表示 (8206) (S212) 利用者のID号の認証前限を入力(5208) 利用者建末以表(E(S214) MG. ISSTOWERY-/I-US CEE 提供するWEBサーバー いみ、で記憶 (8207) 購入品目·其入金額等の程度(E21E) ータを担属するのログート・ (一システムに返信(ezi i) サーバーシステムにおいて文は(S200) サーバーシステムになって受逑(5213) 利用事ポインド情報と記憶を設定を開始。 記述情報 (ログランから記述する利用者のデータを指述 (5210) ました済の思へ 年間は19年1日日本

和明星建友((注注(6221)

[図6]



This Page Blank (uspto)

Lhis Page Blank (uspto)

# This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

## BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

A	BLACK BORDERS
X	IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
X	FADED TEXT OR DRAWING
X	BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
X	SKEWED/SLANTED IMAGES
ū	COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
۵	GRAY SCALE DOCUMENTS
0	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
0	REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
Π.	OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox